

持続可能な社会の実現に向けて
「**ニチレイの約束**」を果たし、
ステークホルダーの皆さまの期待に応えていきます。

代表取締役会長

村井利彰

代表取締役社長

大谷邦夫



ニチレイグループは、「暮らしを見つめ、人々に心の満足を提供する」というミッションを、すべての事業活動の土台に置いています。世の中のニーズを捉え、お客様にご満足いただける価値ある商品・サービスを創造し、提供していくことが私たちの使命であり、存在意義であると考えます。現在、私たちが推進する中期経営計画「POWER UP 2018」も、このミッションにもとづき策定したものです。

また、当社グループにとってCSRとは、このミッションの実現に向けた取り組みそのものを意味します。私たちは社会の変化を踏まえて、2017年4月にグループのCSR基本方針を改定しました。今後は新たなCSR基本方針「ニチレイの約束」のもとで、グループ全体のCSRの取り組みをレベルアップしていきます。本CSRレポートでは、事業を通じて持続可能な社会の実現を目指す、当社グループのCSRに対する考え方や実際の取り組みをご紹介します。

Q. 中期経営計画「POWER UP 2018」の進捗状況と経営環境の変化への対応についてお聞かせください。

A. 中期経営計画「POWER UP 2018」の初年度である2016年度は、加工食品事業と低温物流事業の2つのコア事業を中心に、すべての事業で計画を達成し、おかげさまで過去最高益を更新することができました。安定した為替相場や原材料・電力コストの低下などの追い風はあったものの、「強い事業をより強く」をモットーに、国内事業の収益基盤強化と資産効率向上による利益成長、海外事業の規模拡大に取り組んできた成果が表れたのだと思います。

一方で、私たちを取り巻く経営環境は激しく変化し、不確実性を増しています。米国の保護主義への転換、英国のEU離脱を受けた欧州の動揺、中国をはじめとする新興国の成長鈍化など、世界全体の政治・社会・経済がさらに不安定になっています。日本に目を向けると、景気は回復基調にあるものの、個人消費は力強さを欠き、小売・外食市場において低価格戦略への転換の動きがみられます。また、為替相場や原油価格の変動、労働力不足によるコスト上昇などが懸念されます。

こうした環境変化の荒波の中ですが、当社グループ一丸で、変化をチャンスに変えるべく果敢に挑戦し、持続的成長を目指してまいります。私たちは創業以来、大きな変化につながる小さな兆しを敏感に察知し、迅速に 대응していく「変化への対応力」という遺伝子を連綿と受け継いできました。この力は、当社グループのミッションにもとづき、お客様に真摯に接し、暮らしを見つめ続けてこそ発揮できるものです。

また、2015年9月に国連サミットで採択された「持続可能な開発目標(SDGs)」や12月に国連気候変動枠組条約第21回締約国会議(COP21)で採択されたパリ協定のようなグローバルな潮流に意識を高めることも大切です。当社グループでも2020年度の環境目標を定めて対策に取り組んでいる最中ではありますが、さらに長期的な視野を持つ必要があります。今後、社内での議論を活発化させてまいります。

中期経営計画 「POWER UP 2018」 (2016年度～2018年度)

- 1 持続的な利益成長と資本効率の向上を確かなものとする。
- 2 海外事業は引き続き規模拡大を追求する。
- 3 グループ全体の品質保証力のさらなる向上を図る。
- 4 コーポレートガバナンスなど ESG(環境・社会・ガバナンス)関連の取り組みを引き続き強化する。
- 5 多様な人財の活躍推進に注力する。

Q. CSR基本方針を「ニチレイの約束」に改定した背景と今後のCSRの取り組みについてお伺いします。

A. 時代が大きく変化する中、ニチレイグループの事業活動が社会に与える影響について、あらためて認識を深める必要があると考え、今回、CSR基本方針を改定しました。

具体的には、これまでの「6つの責任」を改め、8つの項目からなる「ニチレイの約束」として決めました。新たに追加したのは、「安全な商品とサービスの提供」「持続可能なサプライチェーンの構築」の2つです。

「安全な商品とサービスの提供」は当社グループの事業の根幹にあり、かねてから重要事項と考えてきたものを明文化しました。食品工場でのフードディフェンスなど、これまでもさまざまな取り組みを進めてきたように、食の安全を確実に守り、お客様の信頼に応えることは何よりも大切です。「安心」は、「安全」なものを「安定」的に得られてこそ成り立ちますので、物流も含めたグループ全体で実現していきます。

「持続可能なサプライチェーンの構築」は、グループの事業活動を支える土台です。当社グループは海外でも事業を展開しており、調達先やお客様などステークホルダーは世界中に広がっています。したがって、より幅広い視野からサプライチェーン全体で社会的責任を果たすことが重要です。また、これを実行に移していくために、2017年4月に「ニチレイグループ 持続可能なサプライチェーン基本方針」を「ニチレイの約束」と併せて制定しました。この基本方針に則って商品やサービスの調達を行うために、お取引先様へも理解と実践への協力を求めてまいります。

Q. 新たな顧客価値を創造するためにどのようなことに注力し、取り組みますか。

A. 昨今では、女性の社会進出や少子高齢化、単身・二人世帯の増加などを背景に、食への価値観は著しく多様化しています。「このライフスタイルのお客様に、このシーンで喜ばれる商品とは何か」など、ニーズを捉えた商品開発により、おいしく手軽に食べられる加工食品を提供することは、家事時間を短縮し、さまざまな働き方や生活スタイル実現の一助になるものと考えます。

低温物流事業では、荷主間の共同配送やモーダルシフト、施設・トラックの共同化に取り組み、環境負荷の低減や交通量の緩和、ドライバー不足への対応など、さまざまな課題の解決につなげています。

現在、当社グループではダイバーシティの推進に注力していますが、これは多様化するお客様と社会のニーズに応える

には、多様な視点が欠かせない、という考えのもとづくものです。さまざまなバックグラウンドを持つ従業員の、異なる価値観や発想を取り込み、新たな顧客価値を創造する力へと変えていきます。

今後グループの規模拡大が進むにつれ、多面的な見方はますます重要になるでしょう。特に海外市場においては、食の分野での新規参入は生半可なことではありません。地域ごとの特色やニーズを踏まえた事業展開が不可欠です。現地の人財やネットワークを最大限に活かしていきます。

Q. 「ニチレイの約束」の実践に向け、従業員へのメッセージをお願いします。

A. 企業の成長とは従業員一人ひとりの成長の総和であり、当社グループを動かすのは人財にほかなりません。従業員には、自ら考えて行動できる自律的な人間であって欲しいと望みます。そのような人たちが集まれば組織は自ずと強くなります。

2016年度にグループ各社の従業員と向き合う座談会を開催し、グループの未来を担う若手社員から多くの意見を聞くことができました。彼らがそれぞれの立場で、自分の仕事にしっかりとした考えを持ち、向き合う姿には感銘を受けました。これらの対話の場でも繰り返し伝えてきましたが、失敗を恐れず挑戦できる風土づくりをさらに推進していかなければなりません。若手社員は小さな失敗を重ねて学んだほうが、将来、大きな失敗へのリスクをコントロールできるようになります。また、管理職は若手にチャレンジさせるためにリスクの許容度を適切に図ることが必要です。

「ニチレイの約束」の一つとして「働きがいの向上」を掲げるとともに、2017年4月に「ニチレイグループ働き方改革の方針」を制定しました。この方針のもと、すべての従業員が活き活きと働ける環境づくりに向けて、多様な働き方の実現や、長時間労働の是正、生産性の向上に取り組んでいきます。

また、働き方改革を進める中、「多様性を活かす」ことへの意識浸透も大切です。多くの違いがあるにもかかわらず適切に向き合わなければ当然衝突が起きます。違いに敬意を払い、認め合いながら、それを新しい価値創造に活かしていかなければなりません。

私たちが次に目指す大きな節目は創業100周年です。一人ひとりが創意工夫を重ねながら、理念や価値観を共有し、グループの総力で「100年続く企業」を実現していきます。

ニチレイグループの CSR経営推進



ニチレイグループのCSR基本方針の改定

ニチレイグループは、2017年4月にCSR基本方針を「ニチレイの約束」として改定しました。食品の調達・製造・流通を主な事業領域としている当社グループは、国内のみならず世界各国において事業を展開しています。当社グループの事業活動が、ステークホルダーや環境・社会に対してさまざまな影響を与えているという認識のもと、今後取り組むべき重要な課題を明確にする目的で改定を行いました。

「くらしを見つめ、人々に心の満足を提供する」というミッショ

ンを掲げているニチレイグループは、さまざまなステークホルダーから、日々の事業活動を通じて持続可能な社会を実現することを期待されていると認識しています。その期待に応え、ステークホルダーとの長期にわたる信頼関係をより強固なものにするために、そしてさらなる価値創造を実現し社会課題を解決するために、グループ全体で「ニチレイの約束」にもとづく経営を推進していきます。

ニチレイの約束 ～持続可能な社会の実現に向けて～

ニチレイグループは、食と健康を支える企業として事業活動を通じて新たな顧客価値を創造し、社会課題の解決に貢献します。また、経済的・社会的・環境的側面に配慮しながら事業活動に取り組み、その活動をステークホルダーの皆様幅広く公表し、理解と対話を深めてまいります。

新たな顧客価値の創造	新たな商品やサービスを創り出し、事業を通じてお客様および社会の課題を解決します
安全な商品とサービスの提供	高い品質と安全性を実現し、お客様の信頼を獲得します
持続可能なサプライチェーンの構築	持続可能なサプライチェーンの構築に努めます
環境負荷の低減	地球環境に配慮し、環境負荷を低減します
社会との共生	社会と地域コミュニティの一員として共に考え、行動します
働きがいの向上	働く人の多様性を尊重するとともに、個々の能力を最大限に発揮し生き活きと働ける環境を実現します
コーポレートガバナンスの充実	適切な資源配分や意思決定の迅速化に努め、公正かつ透明性の高い経営を推進します
コンプライアンスの徹底	ニチレイグループが事業を展開する各国の法令と社会規範を遵守し、倫理性を高めます

ニチレイグループ 持続可能なサプライチェーン基本方針の制定

ニチレイグループは、国内外での事業活動を通じて、サプライチェーンも含めて社会と環境にさまざまな影響を与える可能性があることを認識し、社会・環境の面からも、ステークホルダーとの適切な関係を築いていきたいと考えています。

2017年4月に、CSR基本方針「ニチレイの約束」に「持続可

能なサプライチェーンの構築」を明記しました。その推進のよりどころとして、「ニチレイグループ 持続可能なサプライチェーン基本方針」を制定しました。

サプライヤーの皆さまとも連携し、本基本方針に則った取り組みを進めていきます。

ニチレイグループ 持続可能なサプライチェーン基本方針

法令遵守	事業を営む国・地域の法令・社会規範を遵守する。
公正な取引	公平、透明かつ公正な取引を行う。
人権	基本的人権を尊重し、安全で衛生的な労働環境の確保に努める。
環境	自然との共生に配慮し、環境負荷の低減に努める。
品質・安全	商品・サービスの品質や安全性の確保に努める。
情報管理	情報を適切に管理するとともに、事業活動に関わる情報の適時・適切な開示に努める。
地域社会	企業市民として地域社会との共生を目指す。

経営層を対象としたCSR勉強会の開催

当社グループでは、持株会社、各事業会社の経営層を対象に外部の講師を招き、2017年1月にCSR勉強会を実施しました。CSRに関する最近の動向をテーマに国内外の企業の事例

にも触れながら意見交換を行い、CSR経営の重要性について再認識をする機会となりました。

CSR経営推進体制

ニチレイグループの横断的なCSR経営推進のために、持株会社全体をCSR本部とし、代表取締役社長が本部長を兼務しています。CSR本部では、取締役会の諮問機関として設置している各委員会で審議された情報の共有やCSRの取り組みの

レビューを行い、次年度の改善につなげています。また、2017年4月、経営企画部内にCSR経営推進グループを新たに設置しました。



CSR経営推進会議

当社グループでは、「社会に貢献する事業活動」「グループコミュニケーションのあり方」「社会との信頼性の構築」などを主に議論する場として、2016年度より「CSR経営推進会議」を開催しています。同会議は持株会社のCSRプロジェクトメンバーと、グループ基幹4社の担当者が主な構成メンバーです。

2016年度は8回実施し、「持続可能なサプライチェーンの構築」に関する取り組みについての討議やグループ各社の「環境や社会に関する課題の整理」などを行いました。

2017年度も同会議を継続してCSR経営を推進していきます。

CSR経営推進会議オーナーの声



(株)ニチレイ
取締役執行役員 CSR本部副本部長
田口 巧

ニチレイグループ全体で活発にCSR経営に関する議論をしています

CSR経営推進会議は、CSR基本方針改定の取り組みに並行して、グループ全体でCSR経営を進めるための議論と検討を行う場としてスタートしました。

「ニチレイの約束」に取り入れた、「安全な商品とサービスの提供」と「持続可能なサプライチェーンの構築」に関する具体的な取り組みなどについて、事業会社毎の多様な意見を共有す

る機会としています。

外部の専門家も交えた議論を重ねることで、社会・環境課題も踏まえた重要事項についての議論がより活発になってきています。

この会議を2017年度以降継続し、今後もさまざまなステークホルダーに対する価値を提供する持続的な成長の足掛かりにしていきたいと思います。